

土浦市立博物館第37回特別展 3月19日(土)～5月8日(日)

## まちのしるし —しるしが語る土浦の近代—

わたしたちの暮らす社会には、〈しるし〉があふれています。企業のロゴマークや学校の校章など、組織・団体の多くは〈しるし〉を持っています。こうした〈しるし〉は、江戸時代に広がり、明治時代以降、その数と機能を格段に増やしました。〈しるし〉に囲まれた暮らしの原形は近世から近代にかけてできあがりました。

江戸時代、土浦は商業や醸造業が発達し、明治時代以降も物資の集散地として栄えました。商家は看板や暖簾に〈しるし〉をあしらい、働く人々は印半纏を身にまといました。〈しるし〉は町のにぎわいを象徴するものでした。

この特別展では、江戸時代からの伝統のなかに新しいものを取り入れていった土浦の姿を、さまざまな〈しるし〉を通して探っていきます。



▲醤油ラベル(菊池醤油醸造)／個人所蔵

- ◆展示構成
- |               |             |               |            |
|---------------|-------------|---------------|------------|
| I 江戸のにぎわいとしるし | II 近世城下町の土浦 | III 近代のまちのなかで | IV まちのにぎわい |
|               |             | V 醤油醸造としるし    |            |

◆記念講演会

「江戸の酒と似印」

日 3月20日(日) 午後1時30分～3時

講 岩淵令治さん(学習院女子大学教授)

「近世の醤油醸造業と印

—多ブランドによる生産と販売—

日 4月16日(土) 午後1時30分～3時

講 石崎亜美さん(国立公文書館)

※予約不要、入館料のみ必要です。

◆展示解説会「しるしにみる近代」

日 3月26日(土)、4月9日(土)、5月3日(火) 午後2時～3時

講 博物館学芸員

※予約不要、入館料のみ必要です。

◆土浦城下町ウォッチング

—歩いてたどる商い処

日 4月9日(土) 午前9時30分～正午

講 土浦市観光ボランティアガイド、博物館学芸員

定40人

¥100円(資料代)

申 3月10日(木)から電話、または直接

◆連携講座

「常総地域に広がる醸造業の歴史」

日 4月24日(日) 午後1時～4時

「江戸崎の醤油醸造

—上菱醤油の関口八兵衛家史料—

講 平田満男さん(稲敷市郷土資料調査員)

「下総の醤油醸造

—八千代の中山忠造家の事例—

講 望月博子さん(八千代町役場)

「19世紀佐原の醸造業」

講 酒井右二さん(千葉県文書館古文書調査員)

「土浦の醤油醸造」

講 博物館学芸員

※予約不要、入館料のみ必要です。

◆ミュージアムトーク

「店のしるし—暖簾・印半纏・手拭い」

日 5月1日(日) 午後1時30分～3時

講 豊田満夫さん(豊田コレクション意匠研究所)

※予約不要、入館料のみ必要です。

☎土浦市立博物館(☎824-2928)

■休館日／毎週月曜日(3月21日、5月2日を除く)、3月22日(火)

■開館時間／午前9時～午後4時30分

■入館料／一般…105円(75円)、小・中学生、高校生…50円(30円)

※( )内は20人以上の団体料金

◎毎週土曜日は、小・中学生、高校生は入館無料

◎4月3日(日)桜まつりは無料開館



▲マッチラベル(豊島百貨店)／当館所蔵

▲印半纏(大儀金物店)／当館所蔵